



令和元年度 「学校関係者評価」の結果について

えべつ型コミュニティ・スクールの三つの機能の一つに「学校関係者評価の実施」があります。

各学校では、学校運営委員会を開催して（書面開催を含む）※1、学校関係者評価を行い、結果をホームページや学校だよりなどで公表していますが、江別市全体の結果がまとまりましたので、紹介します。

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面をもって学校運営委員会の熟議に代えた学校が5校ありました。

1. 評価分野について

()内はH30年の数字

江別市では、平成21年度から「経営方針の重点」、「教育課程・学習指導」、「生徒指導」の3分野を必須としています。全校の平均は 5.2 (5.3) 分野で、各校が自由選択した評価分野の主なものは、「健康安全指導」、「保護者・地域との連携」、「特別支援教育」、「道徳教育」となっており、昨年度とほぼ同様の傾向です。

- ・健康安全指導 12校 (12校)
- ・保護者・地域との連携 12校 (12校)
- ・特別支援教育 4校 (7校)
- ・道徳教育 4校 (4校)

2. 自己評価の状況について

()内はH30年の数字

自己評価は、「A=よい、B=おおむねよい、C=ややよくない、D=よくない」の4段階で行っています。

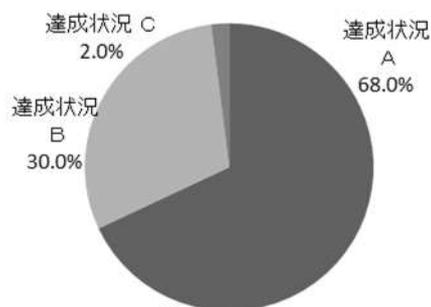
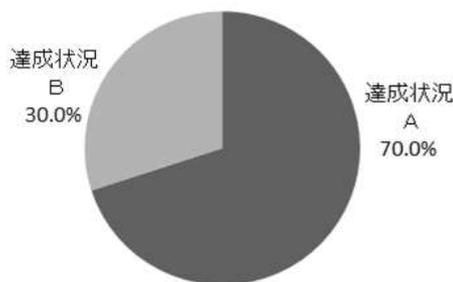
昨年度と比べて、全評価項目のうちA評価の割合は、小学校は 1.7 ポイント増加し、A評価は 70.0%、B評価は 30.0%となりましたが、中学校のA評価は 7.7 ポイント減少となり、68.0%、B評価は 30.0%となっています。

【小学校】A 70.0% (68.3%)

B 30.0% (30.2%)

【中学校】A 68.0% (75.7%)

B 30.0% (23.6%)



3. 学校関係者評価で寄せられた意見について

意見総数は、小学校で 82 件、中学校で 42 件の計 124 件でした。代表的な意見の紹介は、次号で行います。紹介します。

令和2年度 第1回学校運営委員会の開催について

令和2年度の学校運営委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面をもって学校運営委員会の熟議に代えた学校が18校ありました。

実際に開催した学校では、会場を広い場所に設定するなどの工夫を行いましたが、その内の2校の様子を紹介します。



中央小学校での会議の様子



江別太小学校での会議の様子

中央小は、7月1日(水)17時から、校長室で行いました。事前に岩田委員長と相談し、可能な限り短時間で開催することとしました。当日は、4月に赴任した三島校長から今年度の学校運営及び教育活動について説明があり、熟議の末承認されました。なお、会議にかかった時間は60分程度(昨年の市内の平均は88分)で、短くも効率的な討論が交わられていました。



江別太小は、7月3日(金)11時から、音楽室で行いました。席の間隔を空けたり、窓も開放し、扇風機を回し、換気に配慮した中での開催となりました。4月に赴任した泉山校長から、パワーポイントを使って、行事の様子が紹介された後に、今年度の学校運営及び教育活動について説明があり、熟議の末承認されました。終了後、給食の試食も行われました。

なお、書面開催とした江陽中では、委員に資料を送付したあと、意見提出の締切の時間を十分に確保しました。「昨年度の課題とされる『基礎学力の定着』については、課題の掘り下げを踏まえた視点とされており、改善が見込めるのではと期待しています。」「保護者の不安も個々様々で、手立ての構築は難しいと思いますが、江陽中学校ならではのアットホームな雰囲気と親身な対応で、保護者との良好な関係が維持されていくことを期待します。」「新型コロナウイルスの影響により、各活動の進捗が大変な年と思いますが、教育目標が達成されることを願っています。」とのご意見をいただきました。

えべつ型コミュニティ・スクールの説明について

4月に新しく赴任された校長先生、教頭先生に対し、えべつ型コミュニティ・スクール担当の総務係主査(教育政策担当)と教育政策推進員の2人が学校を訪問して、説明しています。

今年は、4月にまず教頭先生に説明。校長先生には、7月末までに説明しました。写真は、7月16日(木)にお伺いした中央中での説明の様子です。対応していただいた校長先生、教頭先生、ありがとうございました。



中央中学校での説明の様子